



2013 ～ 2014 年度
R I テーマ

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

国際ロータリー会長

ロン D・バートン (国籍・アメリカ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0800 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1110 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	森園 伸也	理事	森 宗明	役員	会長	森園 伸也	S A A	高宮 勝美
〃	前田 哲矢	〃	村津 忠久	副会長	副会長	前田 哲矢	直前会長	高宮 勝美
〃	後藤 隆	〃	佐々木 久宜	幹事	幹事	平野 教康		
〃	近藤 賢司			会計	会計	木村 きぬる		

VOL. 26 -41
2014 年 5 月 27 日

第 1189 回 例 会

会報委員長 大島由美子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S それでこそロータリー
- ◆唱 歌 箱根八里
- ◆ゲ ス ト 安部 征吾氏
(大分デバイステクノロジー(株)代表取締役)
- ◆ビジター 村上 有紀 (別府 R C)

会長の時間

会長 森園 伸也

皆さん、こんにちは。先週は仕事の都合上、急遽例会を欠席して申し訳ありませんでした。そんな会長が申すのもなんですが、今週の会長の時間は出席のお願いです。ロータリーでは例会の出席は義務となっておりますが、私は例会に主席することは、自分が学ぶことや刺激を受ける機会であると同時に、相手が学ぶことや刺激を受ける機会でもあると教わりました。私から学ぶことや刺激を受けることはないかもしれませんが、私の任期の残り1ヵ月をまずは全て出席できるようにしたいと思いますし、その後もできるだけ多く出席するつもりでありますので、会員の皆様もお忙しいとは思いますが、例会への出席をお願い致します。以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

平野 教康

1. 本日の卓話

「全社一丸経営への取り組み」
大分デバイステクノロジー(株)
代表取締役 安部 征吾氏

◆出席報告

副委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	29 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	2 名
	出 席 免 除	2 名
前々 回 の 訂 正	欠 席 数	6 名
	出 席 率	76 %
	出 席 率	80 %
	事後メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	2 名
5/13	出 席 免 除	2 名
	修 正 出 席 率	92 %
連 続		— 回
通 算		745 回 100 %

・メイクアップ

事前

事後 河村、藤原 (別府東)

欠席 木村、堀、衛藤、河村、高宮、大島

理事会承認 桃田、岐部

出席免除 溝部、鳴海

2. 本日のゲスト

安部 征吾氏

(大分デバイステクノロジー(株) 代表取締役)

3. 5月24日 (土) 17:00~ホテルサンバリーア

ネックスに於いて「別府東ロータリークラブ
創立35周年記念式典が開催されました。



登録者：平野英壽ガバナー補佐、森園伸也会長、鳴海淳郎、村津忠久、森 宗明、亀井 孝、木村きぬゑ、梶原和朗、前田哲矢、津末美代子、平野教康 各会員

4. 5月25日（日）10：00～大分カントリー月形コースに於いて「別府中央R C親睦ゴルフコンペ」が開催され、梶原和朗会員が優勝いたしました。

参加者：平野英壽、河村貴雄、森園伸也、前田哲矢、亀井 孝、梅津圭二、梶原和朗、平野教康 各会員

5. お祝い

会員誕生日 大江知巳会員（5月29日）
※記念品をお渡し致します。
結婚記念日 西林勲二会員（6月2日）
配偶者誕生日 平野和子さん（5月27日）
森園美香さん（6月1日）
※記念品をお渡し致します。
皆 勤 後藤 隆会員（5月22日=在籍24年）
大江知巳会員（5月24日=在籍3年）

6. 例会変更のお知らせ

大分R C 6月10日（火）の例会は、夜間例会の為 同日18：30～大分オアシスタワーホテルに時間・場所変更
大分城西R C 6月11日（水）の例会は、感謝のつどいの為 同日18：30～豊の国健康ランドに時間・場所変更
湯布院R C 6月11日（水）の例会は、日出R C 30周年記念式典出席の為 6月15日（日）別府湾ロイヤルホテルに日時・場所変更
大分東R C 6月12日（木）の例会は、今年度最後の夜の例会の為 同日18：30～丸福に時間・場所変更
大分南R C 6月13日（金）の例会は、さよなら例会・新会員歓迎会の為 同日18：30～ホテルザーズ5 Fに時間・場所変更

7. 次週例会の予定

「ゲスト卓話」T E D A P U

8. 本日の回覧

- ①「第64回社会を明るくする運動標語パネル」希望購入
②「皆勤記念アンケート」(該当の会員の方のみ)
③自衛隊父兄会より「おやばと」

9. 本日の配布

- ①週報No.1187、1188
②ガバナー月信No.11

委員会報告

近藤 賢司

ロータリーIT化

今後ロータリークラブはIT化を推進していく。之はロータリーの経費削減と情報の共有化である。

経費削減で内部広報を見直す。これはガバナー月信のことである。内部広報に年間500万円を使い、反対に外部に広報するのは90万円しかないのである。

今後はロータリークラブを一般の方に知ってもらうために、外部への広報にシフトしていかなければならない。

ガバナー月信はガバナーから各会長にあてたメッセージであるので会長は毎月ホームページを開いてこれを読み、各会員にガバナーの考え方や方針を伝えれば従来のように誌面を使わなくてもよくなる。

IT化と情報の共有化を推進していくためには、自分のクラブのホームページをもつべきである。しかし現在各クラブは持っているかないか半々くらいである。まず自分のクラブのホームページを作ることが先決である。

今後は各クラブも経費削減のためには、週報も見直さなければならぬかもしれない。

スマイルボックス

委員長 森 宗明

○森園会長

誕生日を忘れずに済んだ。スマイル！
ありがとうございます。

○平野(英)会員

先日の日曜日の親睦ゴルフで少し勝てたのでスマイルします。

母ちゃんの誕生日のお祝い、ありがとう。忘れていました。

○森会員

嬉しい事が2つありますが、今週は小出しに1つだけ。当クラブで表彰をいただいた「ぶたまんの店幸崎」が東京1号店を出します。この日を夢見て頑張りました。感謝してスマイル。

○亀井会員

謎の民族衣装の美人と森園会長。



○梶原会員

5月25日（日）に開催された中央ロータリーゴルフコンペにてなんと！優勝しました。初優勝に感謝しスマイル。

○大江会員

最近、歳を感じます。でも全てを感じなくなるのも時間の問題のようです（笑）

○藤原会員

5月が終わろうとしているのに、今月初めての出席です。申し訳ございません。6月は、例会、ソフトボールの練習と皆勤を目指します。

○村津会員

110年前の今日、5月27日、日本海の対馬海峡のあたりで日本の連合艦隊が、ロシアのバルチック艦隊を徹底的に打ち破り、殲滅しました。今日はその海軍記念日です。

時の連合艦隊司令長官・東郷平八郎をはじめ艦隊員全てを称えてスマイル。

○中尾会員

先週は「るるぶトラベルアワード」受賞で東京に行って来ました。ブロンズアワード（銅賞）ですが、受賞したことに感謝してスマイルします。

卓 話



全社一丸経営への取り組み

大分デバイステクノロジー株式会社
代表取締役 安部 征吾

●レジメ

- 1) 会社概要
- 2) 大手メーカーへの入社
- 3) 親(社長)に相談なく、後継ぎの道を決意
- 4) 家業から企業への改革着手
- 5) 社長(実父)倒れる
- 6) パニック～社長就任
- 7) ITバブル崩壊～大赤字
“大失敗からのスタート”
- 8) 社長の仕事は社長にしか出来ない
- 9) 中小企業の社長という仕事への誇り
- 10) 自社の課題についての分析
- 11) 幹部の育成“共育”
- 12) 進むべき道の明確化“経営計画書”
- 13) 新規事業の抽出～立上げ

ロータリー探究 No.517

鳴海 淳郎

創立25周年にちなんで・わがクラブの歴史を振りかえる

わたしが特別代表で、市内3クラブの二階建てクラブとして別府市全域を区域とする別府中央クラブが創設されましたが、その25周年にあたり、これまでの歴史を振り返ってみたいと思います。

別府中央ロータリー・クラブの結成について

別府中央ロータリー・クラブの結成について

1988・7・1:	特別代表に委嘱される 同時に委嘱された2人の特別代表補佐と共に度々協議を重ねる 宮本末吉(別府北RC)・千寿健夫(別府東RC)
1988・7・20	第1回目の会合
8・2	第2回目の会合
9・10	第3回目の会合
12・30	第4回目の会合
1989・1・28	第5回目の会合
2・10	第6回目の会合
2・28	新クラブ結成グループ第1回会議開催
3・28	創立総会
4・17	RI加盟承認
11・26	チャーターナイト

※ 別府中央ロータリー・クラブの創立
創立・・・1989年3月28日
RI加盟認証・・・1989年4月17日
認証状伝達式・・・1989年11月26日

※ 毎例会の「会長の時間」を大切に
特別代表より新クラブの初代会長になったわたしは、すべては初めが肝腎と思い、とにかくロータリーの基本に忠実に、「早くロータリーになじみ、ロータリーを身につけよう」をテーマに、新しいクラブづくりに全力を注ぎました。
即ち、毎例会の「会長の時間」には努めてロー

タリー情報を提供し、また、ロータリー情報委員会の名に於いて各例会毎にタイムリーなテーマをもとにした「ロータリー用語の解説」を用意し、これを各会員に配布しました。

※ 創立記念事業

1. 「鶴見岳一気登山」下山用道標の整備
1989～90年度に工費約70万円を投じて50本を新設した。
2. 養護施設「栄光園」児童に対する愛のワクチン接種
1989年から1993年にかけて延べ150人以上の児童に「水痘・風疹・おたふくかぜ」のワクチンを接種し、子ども達の疾病予防に貢献した。
3. 「もみじ谷」植樹開始（平成2年11月4日）

※ バナーの紹介

清楚と情熱 この二つの心をコバルトブルーのロータリーカラーに白と赤のストライプによって交差させデザインした。イメージは青い別府湾に浮かぶ白いヨットのよう。

※ 別府中央ロータリー・クラブの歌 制定（平成3年3月）
作詞：鳴海淳郎 作曲：村津忠久

※ 別府中央ロータリー・クラブの歌制定(2012.7.31.)
作詞・作曲 大江 知巳
「B・C・R・C・別府中央ロータリー」

※ 別府中央ロータリー・クラブ創立5周年記念演奏会
(1993年5月8日・別府市中央公民館に於いて)
1. 入場者約600人、市民の感性を育むに役立った。

2. もみじ谷の植樹推進のための奉仕演奏会であり、益金の一部(405,000円)を植樹費用にあてた。
3. 日伊親善をローカルに行ういい機会であった。

※ 創立10周年記念事業

1. 明日の別府を担う少年少女のための小冊子「油屋熊八物語」発行
子どもに夢と感動を与える奉仕は未来への投資であるが、別府観光の父・油屋熊八翁の物語を子ども向けに書き、2000部発行して市に寄贈した。
2. インターアクトクラブの結成
「別府女子短期大学付属高等学校インターアクトクラブ」
3. 別府を夢見る「もみじ谷植樹」の継続と「もみじトラスト機構」結成の推進

※ ロータリー理解推進月間を記念して「ロータリー物語」発行（2000年1月23日）

一般の人にロータリーを分かりやすく解説するために1000部発行

※ 創立15周年記念事業

ロータリー100周年を前に、「ロータリー物語」改定版を2000部発行

※ 別府中央RC創立20周年記念事業

1. 別府中央ロータリー・クラブ創立20周年記念演奏会
2. 別府もみじ谷記念植樹(平成21年3月15日)
1990年に始められた植樹は、以後20年間継続され、今日までに8,943本が植樹された。
3. 「少年少女のための油屋熊八物語」の再発行と配布
別府観光の父・油屋熊八の心を現代の子ども



達に伝えて夢と感動を与え、別府の未来を築く
人づくりに役立てたいと願った。

別府中央ロータリー・クラブの特色と実績

1. ロータリー情報並びに広報活動の展開

- 1) 一般向けのわかりやすいロータリー解説書
「ロータリー物語」発行
・2000年1月ロータリー理解推進月間記念事業
として1000部発行、県下RC会員へ540部配布、
市立図書館・教育庁。新聞社等へ170部寄贈。
・2004年3月28日、ロータリー100周年を前に、
当クラブ創立15周年を記念して改訂版を2000
部発行
・2004年5月6日、「ロータリー物語」刊行に
ついてケーブルテレビCTBの取材を受け、
これが10分ぐらいにまとめられ、12日、13日、
14日と3日間にわたり放映された。
・2004年11月26日・広島リーガロイヤルホテル
で行われたメジャー・ドナー午餐会で、当時
のエステスR I 会長並びにラビツァー財団
管理委員長に進呈、感謝された。
- 2) 毎例会におけるロータリー情報の徹底
・「ロータリー探究」開設(2001年8月1日)
・更新495回(2013年3月3日現在)
・ロータリー情報並びにロータリー広報の徹底
・毎例会において「ロータリー探究」のプリン
トアウトしたものを逐次会員に配布。

2. 別府中央RCが創立以来取り組んでいる「も みじ谷植樹活動」

クラブ発足当初からの継続事業である「鶴見
岳一気登山道」周辺整備の一環としての「もみ
じ谷植樹」は、平成2年度(1990～91年度)よ
り市民運動としての「地域にやさしい別府の町
おこし運動」にも連動して今年で24年目、植栽
本数も10,393本を数えるに至る。

3. 青少年の健全育成につながる奉仕活動の展開

- 1) 「新世代フォーラム」のホストを務める
1997年2月9日に実施された大分県第5分区
主催のIM「子どもに思いやりの心を育てるに
は」のホストを務める。
- 2) インターアクトクラブの結成
1999年1月、溝部学園別府女子短期大学付属
高等学校にインターアクト結成、1994年3月28
日別府中央RC創立10周年記念式典において認
証状の伝達。
- 3) 子どもの善行表彰制度の発足
2013年2月、わがクラブでは、その一環とし
て「子どもの善行表彰制度」を開設し、『奉仕』
『親切』、『努力』、『挨拶』という四つの部門を
設けて別府市内小学校、中学校の中から地域の
ために優れた奉仕活動をしている生徒や学校を
選び、表彰することを計画した。
地域社会に対して優れた奉仕活動を行った小
中学校の生徒や学校を表彰。(各学年ひとり程
度)

市内の小学校・・・17校
市内の中学校・・・8校

4. 会員数の年次の推移とクラブ独自のスマ イルボックスの推移

- 1) 会員数の推移については下記の表の如く、
21名に始まり、多い時は31名の時もあったが
その後少しずつ減少し、現在は29名を数える。
2012年7月3日 24名
2012年11月13日 26名
(2名入会・島田光男・梅津圭二)
2012年12月4日 27名(1名入会・佐藤公亮)
2013年5月28日 28名(1名入会・西馬良和)
2013年10月1日 29名(1名入会・西林勲二)
2014年3月25日現在 29名

女性会員の入会は県下では初めてで、1990年

に1名の入会があり、その後は入会と退会が繰
り返され、2014年3月25日現在、会員総数29名
女性会員5名となっている。

- 2) わがクラブ独自のスマイルボックスの推移
創立以来すべて自主申告で、独自のスタイル
で行われており、その和やかな雰囲気はゲスト、
ビジターにも良い印象を与え、小さいクラブな
がら他にみられない成績をあげている。
その成績を示すと、初年度においては会員数
27名で年間323件(596,000円)、1997～98年度
は会員数26名で年間540件(997,000円)、1999
～2000年度より会員数は少しずつ減ってはいる
が年間100万円を超え、2005～2006年度は会員
数25名でこれまでの最高121万となり、その後
会員数の多少の減少とともに85万、84万、83万
円と低下している。

別府中央ロータリー・クラブの最近の情勢

1. わがクラブの米山奨学事業推進について

- 1) 米山奨学事業について
1920年、日本のロータリーの父とされる米山
梅吉氏によって創立された東京ロータリー・ク
ラブは、わが国のロータリーの発展に尽力され
た氏の功績を偲び、1953年米山という名称を冠
して奨学制度「米山基金」を創設しました。
そして、1957年9月には全国のロータリー・
クラブの共同事業として「ロータリー米山奨学
委員会」が発足、現在の「(財)ロータリー米
山記念奨学会」へと発展しました。
米山奨学事業は、日本の学術や技術を学び、
あるいは日本の文化を研究する目的で日本に在
留している外国人私費留学生に対し、ロータ
リーの理念とする国際理解と国際親善を深める
ために、全日本のロータリアンの寄付金を財源
として奨学金を支給、援助して、前途有望な青
年を育成する事業です。一人の米山奨学生を受
け入れるには、年間200万円が必要とされてい
ます。
日本最大規模の民間奨学団体として、他団体
の奨学金制度と大きく異なる点は、世話クラブ
とカウンセラー制度のあることです。
奨学生はロータリー・クラブを通じて日本の
文化、習慣などに触れて社会参加と社会貢献の
意識が育てられ、将来ロータリーの理想とする
国際平和の創造と維持に貢献する人となること
が期待されます。
多くのプログラムが世界のロータリー共通の
事業であるのに対し、米山奨学事業は日本の
ロータリー独自のものであることを忘れてはな
りません。

2) 米山奨学事業の現状と実績

米山奨学事業が始まって半世紀がたちまし
た。これまで支援してきた奨学生数は13,322人
(2006年4月現在)、その出身国は106ヶ国に及
んでいます。

年間の新規奨学生総数は1998年の1,100人を
ピークに年間1,000人の採用数を維持してきま
したが、2005年度より800人の留学生に奨学金
を支給しています。

次に日本で学ぶ、留学生の数について述べ
ますと、平成24年5月1日現在の留学生数は
137,756人(前年度比319人減)。出身国・地域
別では「中国」62.7%、「韓国」12.1%、「台湾」
3.4%、「ベトナム」3.2%の順になっています。

3) わがクラブと米山奨学事業(その1)

わがクラブの存在する別府市には80を超える
国・地域から学生が集まる、立命館アジア太平
洋大学が開学されていますので、米山奨学生の
受け入れも他クラブに比して容易で、ここ数年
来、世話クラブとしての受け入れ、カウンセラー
になる会員も、小さいクラブの割には目立つ存
在となっています。

次に最近のそれを示しますと、

- ・2007年度 米山奨学生の世話クラブ及びカウ
ンセラー
フィン・フォン・ミン
女性・21歳・国籍ベトナム
立命館アジア太平洋大学
奨学期間：2007年4月～2009年3月/2年間
世話クラブ・別府中央RC
カウンセラー・梅津ヤヨイ会員
- ・2009年度 米山奨学生の世話クラブ及びカウ
ンセラー
パントウシャート・シリバン
女性・21歳・国籍タイ
立命館アジア太平洋大学学部4年
世話クラブ・別府中央RC
カウンセラー・大島由美子会員

4) わがクラブと米山奨学事業(その2)

- 奨学生の例会出席と卓話
2008年10月7日：フィン・フォン・ミン
「文化の違いを超える」
2009年10月6日：パントウシャート・シリバン
「いれば授業で習ったこと」
2010年10月12日：パニツナンタナクン ナツタニット
2011年10月4日：グエン・ティ・ツイ・ユン
「学生生活で感じたこと」
2012年10月2日：ホッセン・モハツマド・イムラン
「国紹介・パングラデシュ」
2013年10月8日：文 智炫(ムンジヒョン)

2. 新しいクラブの歌をつくる(2012年7月31日)

作詞・作曲 大江知巳

3. 最近の親睦活動

- 1) 別府中央ロータリー・クラブ親睦ゴルフコ
ンペ
日時：2013年9月8日(日)10:00～
場所：別府の森ゴルフ倶楽部
森園伸也会長が優勝
出席者：森園伸也会長、平野英壽、河村貴雄、
後藤隆、近藤賢司、岐部光男、前田
哲矢、梶原和朗、梅津圭二 各会員
- 2) 第30回別府近隣親睦7RCソフトボール大
会(2013年10月14日)
平野英壽第2720地区大分第3分区ガバナー補
佐
森園伸也別府中央ロータリー・クラブ会長

4. 創立25周年にあたって

平成26年3月25日に開催された創立25周年記
念例会において、森園会長は25周年記念事業
としてタイ王国に支援事業を行っている国際
NGO団体PRENGOに、25周年に因んで25万円
の寄付を行うことを決め、これを図書購入費に
充てることを希望しました。

このあと初代会長であるわたしは、「創立25
周年に因んで」と題して、パワーポイントでそ
の歴史的紹介をしました。



上記写真は平成26年3月29日発行の
「今日新聞」より引用